

科目名	校外実習 On the Job Training			担当教員	4年生学級担任		
学年	4年	学期	通年	科目番号	09516	単位数	1
分野	専門	授業形式	実習	履修条件	選択		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた実習課題の遂行をとおして自主的な行動力や問題解決能力を身に付ける。 コミュニケーション能力や社会におけるマナーを身に付ける。 報告書作成能力を高める。 報告会での意思伝達能力を高める。 将来の進路選択における判断材料の一つを得る。 						
進め方	<ul style="list-style-type: none"> 主に4年生の夏期休業中の2週間から1ヶ月間を利用して、民間企業や官公庁等において実務訓練を受ける。 受入先において担当者が割り当てられるので、その指示に従うと共に、与えられた課題に対して関係者とコミュニケーションをとりながら自主的に取り組む。 終了後は実習報告書を提出する。 実習報告会において発表し、参加者との質疑応答を行う。 						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	校外実習 実習報告書の作成 実習報告会での発表及び質疑応答			以下の各項目ができる。 <ul style="list-style-type: none"> 社会人に対して自己の意思を明確に伝達できる。 与えられた課題を自発的に遂行できる。 実習内容を報告書にまとめることができる。 実習報告会において実習内容を第三者に分かり易く説明できると共に参加者との質疑応答が行える。 			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 評価は、報告書の内容、および校外実習報告会における発表内容・質疑応答内容について、全教員による評価を行い、その平均値を採用する。 校外実習報告会における発表内容が不十分な者に対しては、再発表を課すことがある。 総合評価60点以上を合格とする。 						
学習・教育目標との関係	建設工学コース必修得科目であり、コースの学習・教育目標との関係は以下の3項目である。 (C-1)「平素の課題の遂行」、(C-2)「特別な課題の遂行」を受入れ機関の証明書によって評価する。(50%) (D-1)「報告書等の作成」を実習報告書の内容によって評価する。(15%) (D-2)「口頭発表と質疑応答」を実習報告会の内容によって評価する。(35%)						
関連科目	建設環境工学に関する全科目						
教材	必要に応じて各自で検索する。						
備考	詳細な評価基準については、別途書面によって開示する。						